

平成30年度 第1回 松山市子ども・子育て会議 全体会 会議録

1. 日時

平成30年7月17日(火) 10:00~10:40

2. 場所

松山市青少年センター 3階 大ホール

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員(18名)

(五十音順、敬称略)

(2) 事務局

岡本子ども・子育て担当部副部長及び事業関係担当課等長並びに担当者

4. 傍聴の可否

可(傍聴者0名)

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 委員及び事務局職員紹介

(3) 確認事項

①松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

②次期松山市子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査について

(4) 閉会

6. 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 配席図
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1 松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価
- ・ 資料2 次期松山市子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査について

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、平成 30 年度第 1 回松山市子ども・子育て会議を開会させていただきます。

本日の会議につきましては、委員総数 20 名のうち、18 名のご出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

それでは、お手元に配布しております次第に沿って進行をさせていただきます。

まず、開会にあたりまして、

松山市保健福祉部子ども・子育て担当副部長の岡本より、ご挨拶を申し上げます。

～岡本担当副部長挨拶～

2. 委員及び事務局職員紹介

・事務局

本来であれば、三浦会長に進行をお願いするところですが、新年度に入って最初の会議ですので、誠に僭越ではございますが、次第 2 “委員及び事務局職員紹介” までの間、引き続き、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第 2 “委員及び事務局職員紹介” でございます。

本会議の委員の皆様の任期は、平成 31 年 2 月 9 日までとなっております。昨年度から引き続きご就任いただいておりますが、烏谷委員が平成 30 年 5 月 31 日、をもって辞職され、後任として松山市保育会 書記の富谷 円枝様、が委員に就任されましたのでご報告いたします。所属部会については、事前に三浦会長より指名を行っていただき、教育・保育部会になりますので、ご紹介いたします。

また、本日は新年度最初の会議ですので、お手元の名簿の順に改めて委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

～五十音順で委員紹介～

・事務局

なお、「太田 佳光委員」「吉松 靖文委員」は、ご都合により本日はご欠席となっております。次に “事務局職員” を紹介させていただきます。

“子ども・子育て担当部長” の西岡 でございますが、本日都合により欠席させていただきます。

“子ども・子育て担当副部長” の岡本 でございます。

そのほか、保健福祉部並びに教育委員会等 事業担当 一同でございます。

以上で紹介を終わります。

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第6条第1項の規定により、これより先は、三浦会長に進行をお願いいたします。

3. 確認事項

・三浦会長

みなさんこんにちは。30年度第一回の全体会ということでお集まりいただきました。ありがとうございます。はじめのご挨拶にもありましたが、大変な被害が西日本を中心に起こっておりまして、小さい子どもさんのおむつやミルク、ミルクを作るためのお水であるとかを考えると胸を痛めております。

本日は、この全体会の後には、2つの部会に分かれてもう一度会議をさせていただきます。本日のこの全体会は、この場で最終的に決定することではなくて今後の進め方等について説明をして、それを皆さんがどう返していくかということ意識していただけたらと思います。事務局の説明の後、理解が行き届いてないところがありましたら、ご遠慮なくご質問いただけたらと思います。よろしくお祈いします。それでは、確認事項として2点ございますが、昨年度の会議でも説明がありました、「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価の方法等について、改めて事務局から確認、ご説明をお願いしたいと思います。

・事務局

～事務局から、「松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価」について説明～

・三浦会長

点検評価についてご説明いただきました。スケジュール的には、7月に点検評価を行って8月に公表予定ということですので。後ほどその評価のための資料が配られることになろうかと思ひます。評価基準については0から5ということですが、普通に進んでいけば3という評価になろうかと思ひます。何かご質問がありましたらお祈いします。

～質問なし～

・三浦会長

よろしいですか。

前回と同様の評価方法でということですので、お手数ですが資料等届きましたら、よろしくお祈いします。

次の2つ目の確認事項ですが、「次期松山市子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査」について、事務局から、ご説明をお祈いします。

・事務局

～事務局から、「次期松山市子ども・子育て支援事業計画に伴うニーズ調査」について説明～

・三浦会長

子育て支援事業計画のニーズ調査についてです。前回平成25年度に行いましたが、今回、ほぼそれに従って若干調査数の変更はありますけれど、形式的にはほぼ同じ形で踏襲していくとい

うことです。統計的なものですからあまり調査票を大きく変えない方がいいということもあろうかと思います。スケジュール的には、この会議を受けて、調査票を作成し、調査・集計、最終的には来年の初めにこの会議に報告があがるということです。前回ご経験の方もおられると思います、もし前回の結果をふまえて今度こういうことに注意してもらった方がいいとかありましたら、ぜひお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

- 堀田委員

前回の結果に関して答えていただいた方にフィードバックというか、こういう結果になったよということはどうされていたのか知りたい。できたら、ホームページ見てくださいというのではなくて、見ていただく場合は、QRコードをつけるとか自宅で子育てをしている方にみていただけるような工夫をして、答えたものがどういう結果だったのかというのを確実に返せるようにしてほしいと思います。

- 三浦会長

調査結果のフィードバックについていかがでしょうか。

- 事務局

前はホームページの公表という形でとどまっておりました。今回、具体的に堀田委員が言われたようなレベルまでは現時点では考えておりませんが、どういったことができるのかというのは、検討させていきたいと考えております。

- 堀田委員

アンケート調査を行ったときに答えたことがどう使われるとかどう役にたったのかすごく皆さん気にされていたので、答えたけどそれに対してどうなっているのかということがホームページにたどりつかないとわからないのは非常にもったいない。ぜひQRコードとか、よろしくお願いします。

- 三浦会長

ありがとうございました。結果のフィードバックの公表について少し工夫を検討していただくということです。

- 山本委員

提案ですけども、カンガエルーカフェなど子育てサイトとかもありまして、お母さんたちにおかりやすい形でそういったところに載せていただけたらきっと見てくださる方も増えるのかなと思います。

- 三浦会長

ありがとうございます。事務局も、そういうことも含めて、ご検討ください。

- 二宮委員

先ほどの付随ですが、今ホームページをみるツールとしてスマートフォンかタブレットが多くなっています。実際分析したら、70%~80%の方がスマートフォンで見られている方がほとんどになっていますので、公表の仕方について5年前とこの5年間の間に変わってきているの

で見やすいような工夫をしていただけたらいいかなと思います。

- ・三浦委員

ご検討、よろしくお願いします。

- ・事務局

SNSで見られる方が多いというのは、子育ての情報発信でよくわかっておりまして、そのために先ほど山本委員が言われました松山市のカンガエルカフェという子どもの情報に特化したページを作っておりますので、そちらでの公表は、すぐできると思いますので、検討させていただきます。

- ・相原委員

調査票の中身の選択肢について質問ですが、前回のニーズ調査をしたときにはなかった企業主導型の保育所があると思うのですが、松山市の事業ではないですが、選択項目の中に追加してもらうことは可能なかどうか、お伺いしたいです。企業主導型の保育所に入れたいという保護者の方もいらっしゃると思うので、それがどれくらいのニーズがあるか一緒にここで把握できれば見やすいと思ったのですがいかがでしょうか。

- ・事務局

企業主導型保育につきましては、新たに事業計画を策定するにあたって確保の内容にも含める事業になっております。当然選択肢にも入ってきますので企業主導型を含めたアンケート調査票を作る予定です。

- ・安田委員

基本的なことをお聞きしますが、抽出方法について、こういったところを抽出するのかわで非常に大きな影響があるのではないかと思います。本当にランダムに抽出しているのか、それとも地域的にとか色々枠があるのか、そういったところを教えてくださいたいと思います。

- ・事務局

松山市の子ども子育て支援事業計画は、松山市を9つの地域に分けて実施するようにしておりますので、9つの地域に分けた上で、そのあとはランダムに抽出しております。

- ・堀田委員

アンケート内容で、そのお子さんが何人目かということをお聞きかどうか、確認したいです。とくに就労関係に関しては、2人目になると両立が厳しいことでやめるという方が非常に多いということが、アンケートではありました。子どもさんが第何子かというところで状況が違うというのを感じていますので、そのあたりを盛り込めないかなと思いました。

- ・事務局

現時点はそこまで考えていなかったのですが、抽出した世帯に応じて子どもが二人いるのかどうかということもありますが、そういったことも含めてアンケートの内容がずれないうえでそういった質問ができるか考えさせていただきたいと思います。

- ・山本委員

ニーズ調査の件ですが、平成 25 年度は国から調査票のひな形が示されていてほぼ基本どおり調査をされたのだと思います。今回ひな形が提示されていないということですが、こういうことを調査してほしいとか色々思いがあります。前はひな形があったのでそれを基にしなければならぬということでも色々網羅されることはなかったですが、今回は、そういうものを入れることができるのか、それとも基本的にひな形があってそれ以上は広げることができないというニュアンスでとらえていいものなのか、教えていただけたらと思います。

- ・三浦会長

統計資料的な継続性という意味では、前回と大きく変えないと理解しておりましたが、事務局いかがですか。

- ・事務局

会長のおっしゃる通り、続けての計画になりますので項目が全然変わったら内容が変わってきますので、基本的には、前回の形のままやりまして、先ほどもありましたが「企業主導型」も新しく入ってきておりますし、松山市の情勢も変わっているのもあるかと思えます。前回の形を残したままプラスして新しくこういった質問を入れるべきか、入れなければならないものがあれば、追加することはできると思えます。

- ・井上委員

松山市の北部地区にもニーズ調査を行っていただければと思います。

- ・事務局

市内 9 区域に分けておりましてそこで北部地区にもまんべんなく調査をいたしますので、結果はまんべんなく反映したいと思えます。

- ・香川委員

量的には、ソフトもハードも色々なニーズがあると思うので、確保の内容とを照らし合わせてということもありますが、もう少し広くニーズをとらえる視点があればいいかなと思えます。

改善するとしたら、認知度、知っているかどうか、利用したことはあるか、今後利用したいか、など満足度であったり、今後松山市として重点的に取り組む事業はどれなのかもう少しわかっていくとその事業に対するニーズがでてくるので、そういったことがあればいいかなと思えます。

- ・三浦会長

量的なニーズ調査ということですが、質にも踏み込めないかという趣旨だと思います。アンケート自体の煩雑さ、煩雑になればなるほど回収率も下がるということもありますのでそこの折り合いをご検討いただければと思います。

- ・山本委員

ニーズ調査は、たくさんの項目があるのでこれを全部書こうと思うと確かに大変だなと思うのでこのあたりは色々と考えていかなければいけないなと思えます。

少子高齢化の中で、松山市の人口は減っているのでは地方創生という人が松山に住みたくなる

というところで子育てという分野はとても大きいと思います。松山に住んで子育てしてみて子育てしやすいまちという口コミは、影響力があるのではないかと考えています。広い視野を考慮に入れながらニーズ調査をしていけば、今後松山の子育て支援の方向性が見えてくると思います。

今後5年計画になってくると思うと5年後も変わってくるそのことをふまえていく必要があるのではないかなと思います。

・三浦会長

ありがとうございました。ご意見として受け止めていただけたらと思います。

ほかにはございますでしょうか。

この点については、後でまた思いついたことありましたら、事務局の方へご連絡いただいてもまた検討していただけると幸いです。

それでは、これで確認事項2点終了いたしました。これにて全体会を終了させていただければと思います。

事務局、よろしく申し上げます。

4. 閉会

・事務局

以上をもちまして、「平成30年度 第1回 松山市子ども・子育て会議の全体会」を閉会いたします。委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

なお、この後、約10分間の休憩の後、この場所にて「地域子育て部会」、この階の小ホールにて「教育・保育部会」を開催いたします。

教育・保育部会の委員の皆さまは、そのまま会場へ移動されても構いませんが、地域子育て部会の委員の皆さま方は、会場のレイアウト変更を行うため、大変申し訳ございませんが、しばらく会場の外でお待ちください。準備が整いましたら、改めてご案内いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日は、ご出席いただき、誠にありがとうございました。

(了)